

平成 29 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 島本 太香子

| | | |
|------------|--|---|
| 最終学歴 | 慶応義塾大学医学部医学科 卒業 大阪大学大学院医学研究科 博士課程 修了 | |
| 取得学位 | 医学博士（大阪大学） | |
| 所属学会 | 日本産婦人科学会（専門医機構認定専門医）、日本学校保健学会、 日本母性衛生学会、日本公衆衛生学会（認定専門家） | |
| 専門分野 | 医学（産婦人科学、公衆衛生学）、母子保健、学校保健、健康教育 | |
| 研究課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・女性医学のあり方に関する研究 ・大学における健康教育・生命倫理教育に関する研究 ・若年女性の健康管理に関する研究 ・周産期医療・母子保健に関する研究、ジェンダー生理学に関する研究 ・女性の活躍推進施策・ワークライフバランスと社会に関する研究 | |
| 授業科目 | 学部担当科目 | <ul style="list-style-type: none"> ・人間論Ⅵ ・健康論Ⅰ ・健康論Ⅱ |
| | 大学院修士課程 担当科目 (博士前期課程含) | |
| | 大学院博士後期課程 担当科目 | |
| | 通信教育部担当科目 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康論 |
| 【研究上の特記事項】 | <p>(平成25～28年度 科学研究費 基盤研究(C)) ジェンダーの視点からみた更年期不定愁訴の新しいニーズアセスメント指標の開発 4,810,000円</p> <p>(平成29年度 奈良大学研究助成) ジェンダーの視点からみた女性のライフステージを通じた不定愁訴のセルフケアの横 断的研究 406,000円</p> | |
| 【教育上の特記事項】 | <p>医学教育、臨床、保健衛生行政における医師としての経験をもとに、大学教育におけ る健康教育のあり方、医学の進歩による生命倫理の教育のあり方を研究している。 健康に関する講義では、Evidence-Basedな健康論を学生に実感として伝え、予防医学 の観点から社会的にも個人としても健康な社会人として自ら行動できる基盤を形成す ることを目指す。 人間論の講義では、最新医学の進歩とそれに伴う生命倫理の課題について、様々な のちの現場を臨場感とともに伝え、学生自ら「考えること」を目的に双方向性の授業 を目指す。</p> | |

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>【社会的活動】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県男女共同参画審議会 委員 ・奈良県開発審査会 委員 ・奈良市男女共同参画推進審議会 委員 ・市立奈良病院運営市民会議 委員 ・生駒市乳幼児健診検討委員会 委員長 ・(社団法人)なら犯罪被害者支援センター 正会員 ・大阪公衆衛生協会 母と子のすこやか基金 運営委員 ・奈良いのちの電話協会 相談員養成講座 講師 ・奈良大学シンポジウム『女性の健康とワークライフバランス』 2018/3/10 オーガナイザー ・招待講演 2017/11/25 「リプロダクティブヘルス/ライツと性感染症の予防」 ・『青少年の自立を支える奈良の会』 ・大和歌人協会 理事 |
| <p>【学内活動】 (学内職歴を含む)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談室 室長、 同 運営委員、 同 相談員 ・FD委員会 委員 ・セクシュアルハラスメント防止委員会 委員、同 主任相談員 ・全学企画委員会 委員 ・教養部 企画委員長 ・医務室 医療相談 ・労働安全管理者 ・衛生委員会 委員 ・奈良大学ボランティアサークルゴールデンZクラブ顧問、 奈良大学現代短歌会顧問 |

| 研究業績〔著書、学術論文等〕 | | | | |
|---|---------|--------------|--|--|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
| (著書) | | | | |
| (学術論文) | | | | |
| ①「ジェンダーの視点と対人関係構築傾向指標（VAT）からみた若年女性の月経関連の自覚症状」 | 単著 | 2018/3/31 | 『奈良大学紀要』46巻 | 若年女性の月経関連症状と主観的健康度を対人関係構築指標であるVATのタイプにより比較検討。 |
| ②女子大学における女性医学の視点に立った「WLB相談室」～その6年間の推移と総括～ | 単著 | 2018/3/31 | 『平成29年度 ダイバーシティ研究環境事業支援本部活動報告書～奈良女子大学』 | 「ワークライフバランス相談室」の健康と医療に関する相談の実情から、女性医学的な支援の意義を考察。 |
| ③女子大学生の食行動と月経関連症状に関する予防医学的考察 | 単著 | 2018/3/31 | 『平成28年度 ダイバーシティ研究環境事業支援本部活動報告書～奈良女子大学』 | 女子大学生の食行動と月経関連症状の実情を検討し、今後のヘルスケアのあり方を考察。 |
| (学会発表) | | | | |
| ①乳幼児を育児中の女性に必要なヘルスケアをジェンダーの視点から考察する | 単独研究 | 2017/4/14広島 | 第68回日本産科婦人科学会 | 乳幼児を育児中の女性の月経関連の自覚症状の重症度とジェンダー特性の関連を調査、考察。 |
| ②「女子大学生への性差医学的ヘルスケア教育のあり方の検討（ジェンダーという用語の理解の調査から）」 | 単独研究 | 2017/10/6神戸 | 第58回日本母性衛生学会 | 女子大学生の性差医学的ヘルスケア教育について日本語の「ジェンダー」という用語の使用の調査から考察。 |
| ③地域における女性の健康の包括的支援について（女性専用外来の12年間の推移から）」 | 共同研究 | 2017/11/2鹿児島 | 第76回日本公衆衛生学会 | 女性専用外来の12年間の推移から地域における女性の健康の包括的支援のあり方を考察。 |
| ④当地域の更年期女性の症状・生活習慣等とエクオール産生能について」 | 共同研究 | 2017/11/4大阪 | 第32回日本女性医学学会 | 閉経期の女性のエクオール産生能と不定愁訴を検討。 |
| (招待講演) ライフステージに応じた女性のヘルスケア | 単独研究 | 2017/5/27大阪 | 北河内医療連絡会議 | 女性専用外来の実情からあらゆる世代の女性のヘルスケアのポイントを考察。 |
| (その他) | | | | |
| 健康ミニ講座 ①更年期の真実 | | 2017/10/3 | 奈良女子大学ダイバーシティ研究環境事業支援本部 | 思春期から更年期までのライフステージに応じたヘルスケア講座。第一回は更年期障害の正しい理解と対処法について。 |
| ②月経と上手に付き合おう | | 2017/11/7 | 同上 | 第二回は月経関連症状の正しい理解とその対処法について。 |
| ③リプロダクティブヘルスアンドライツ | | 2017/12/5 | 同上 | 第三回は生殖をめぐる健康と権利について。 |